



PERSON①

一般社団法人クオリティ・ライフ

理事

的場宏一郎



「ICT機器を駆使する
次世代のリーダーシップ」

～先駆者の視点から介護人材スキルと
ICTスキルを解き明かす～

令和5年度
福岡市介護事務効率化支援事業

「ICT活用で介護職の幸せの向上を」

介護職は肉体的および精神的に要求の高い職業であるため、介護職の幸せを考えた会社組織作りが重要です。

ICT活用の目的は、この介護職の幸せ向上です。

「介護記録のICT化で、 幸せを向上！」

介護業務の一つ、「介護記録」。介護業界には手書き文化が根付いており、訪問介護サービスも例外ではありません。事業所立ち上げの際の市場調査でも、『記録業務でケア業務や休憩の時間が犠牲になり、スタッフのストレスが増大している。』『記録の質にばらつきがあり、十分な介護記録とは言えないケースがある。』などといった声が確認されました。これでは、幸せではないと思いました。また、他の専門職からも、『紙での情報管理は限界』との声が上がっていました。

幸せ実現のために、「介護記録システム」の導入を決断したのでした。



「スムーズな導入のポイントは、 ICTが苦手な方への支援」

若い世代はシステムにすぐ慣れましたが、一部の中高年層にとっては、難易度高く感じられたようで、抵抗感が確認されました。そこで、まず実際に体験してもらう時間を設けるなど、少しずつICTに対する抵抗感の減少に取り組んだんです。そしたら、少しずつでしたが、皆、慣れていきましたね。もちろん今では、使えない人はいません。



「ICT導入の効果を実感」

ICT導入効果ですが、従来の紙ベースでの記入方法では、時間と手間がかかる上に、エラーやミスが生じやすいという問題がありました。システムの導入により、これらの作業を効率的に行う事が可能となり時間の節約に繋がりました。

また、データの一元化により、集計や分析が容易になり組織全体の業績や利用者様へのサービス実施状況を定期的に評価・検証することができるようになりました。



「ICT化に加え、ヒューマンスキル向上で、幸せを実現」

いきなりシリアスな話になりますが、経営の最大の課題は、「組織としての人間力=ヒューマンスキル」の不足による組織能力の低下・悪化です。述べたとおり、ヒューマンスキルの向上は、ICT化で達成できる。私は、ICT化で介護職の幸せを実現することが、地域社会・利用者・職員から選ばれる事業所への第一歩になると確信しています。

「学びと成長が魅力の介護業界」

介護分野は多様なバックグラウンドや幅広い視点を持つ方が活躍しやすい業界です。常に新しい知識や技術を学べるので、介護の仕事は、個人の成長と継続的な学びを重視する人にとっては特に魅力的でしょうね。



今後の介護事業と魅力

お役立ち情報

●令和5年度「介護事務効率化支援事業」サマリーセミナー
一般社団法人クオリティ・ライフ 理事 的場宏一郎

①セミナー

①【ICTの具体的な活用方法

～ICT導入により介護事業上の様々な課題がどのように解決するか～



②【ICTシステム・機器類の導入の根本的な目的とビジョン

～強い事業所作り＝組織能力の高さ～

②セミナー



③【令和5年度「介護事務効率化支援事業」現場の声】

～コンソーシアム事業所 職員インタビュー動画～

③インタビュー



●<福岡市Facebook>福祉人材の部屋

<https://www.facebook.com/fukushijinzei.fukuoka1>



●【事務局】合同会社SPEC経営研究所 <https://spec-labo.jp/>

本事業の第1弾、第2弾、第3弾開催の様子はコチラから→



～今回の事業でご協力頂いた事業所様～

●一般社団法人クオリティ・ライフ

https://hp.kaipoke.biz/726/166329/base_0004.html

●医療法人柏愛会

<https://www.h-ortho.jp/>

発行元：福岡市高齢社会部高齢社会政策課
運営：合同会社SPEC経営研究所